

シンポジウム 石狩海岸周辺の 大規模風力発電事業計画の危険性

日時：2017年5月13日(土) 13:30～17:00

(13:00より受付)

会場：北海学園大学6号館C-31教室

(地下鉄東豊線「学園前」下車)

資料代：500円

・石狩湾新港周辺の風力発電事業の現状

安田 秀子氏(石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会)

・石狩海岸に残された砂丘植生・自然生態系の重要性

佐藤 謙氏(北海学園大学名誉教授)

・風車騒音による健康影響と石狩湾新港周辺

3事業の影響評価

松井 利仁氏(北海道大学大学院工学研究院教授)

自然再生エネルギーとして期待されている風力発電にはデメリットもあります。石狩湾新港周辺には、4事業者による46基の巨大風車(1基3,200～4,000kW、総出力16.7万kW)が建とうとしています。これらの大規模風車群は石狩海岸の自然生態系と景観を破壊するとともに、近隣住民への健康影響が石狩市や小樽市にとどまらず、札幌市まで及ぶ危険があります。語られない巨大風車群の危険性についていっしょに考えましょう。

主催：風力発電問題シンポジウム実行委員会

(北海道自然保護協会・石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会・銭函海岸の自然を守る会)

問合せ：一般社団法人北海道自然保護協会

TEL 011-251-5465 fax 011-211-8465 Eメール info@nc-hokkaido.or.jp